

平成 29 年 2 月 23 日

レヴォーグのリコールについて

平成 29 年 2 月 23 日、富士重工業株式会社より、国土交通省にレヴォーグのリコールを届け出いたしました。

リコール届出番号	3998	リコール開始日	平成29年2月23日
不具合の部位(部品名)	原動機(エンジンコントロールユニット)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	原動機において、エンジンコントロールユニットのプログラムが不適切なため、吸入空気温度が高い状態で点火時期や燃料噴射、過給圧が適正に制御ができず、異常燃焼を起こすことがある。そのため、シリンダー内の圧力が異常に上昇しコンロッドが折損、最悪の場合、シリンダーブロックが損傷してエンジンオイルが漏れ、火災に至るおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、エンジンコントロールユニットの制御プログラムを書き換える。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スバル	DBA-VM4	「レヴォーグ」	VM4-002001 ~ VM4-087070 平成26年 4月21日～平成28年 10月5日	64, 683	
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成26年 4月21日～平成28年 10月5日	(計64, 683台)	

※対象車の車台番号及び製作期間の範囲には、対象にならない車両も含まれる場合がありますので、詳しくは最寄りの販売店にお問い合わせください。